

2018年度課題発見ゼミナール

2018年6月8日

心理学が関わる社会的課題を 発見する・解決策を考える！

佐藤 健二

徳島大学 総合科学部 社会総合科学科
心身健康コース 臨床社会心理学研究室

1

心理学が関わる社会的課題・・・

- 医療: うつ・自殺, 糖尿病(徳島県は死亡率ワースト1が続く), 認知症など
- 福祉: 虐待, 発達障害
- 教育: 不登校, いじめ
- 司法・犯罪: 薬物・ギャンブルなどの依存症, 性犯罪の再発予防
- 産業・労働: うつ病の復職支援, ワークライフバランス, ひきこもり・ニートなど若本自立支援
- 被害者支援他さまざまな問題
 - 南海大地震など被災者, 被害者の心理的問題(トラウマ)への心理的ケア
 - 少子高齢化社会(就活・婚活), コミュニケーションの問題など

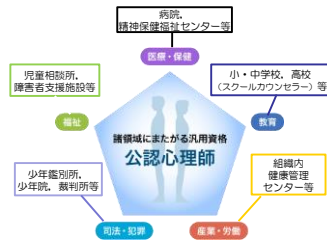
2

心理学初の国家資格「公認心理師」

分野: 医療・保健, 福祉, 教育, 司法・犯罪, 産業・労働 (5分野)

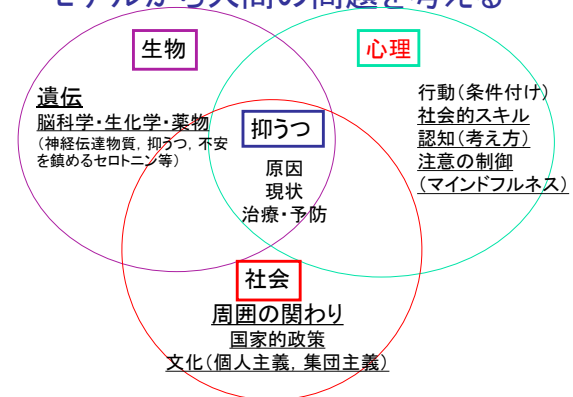
業務: 心理に関する支援を要する者について, ①心理状態の分析, ②心理に関する相談, ③関係者(家族等)への相談, ④心の健康に関する知識の教育・情報提供 (4業務)

公認心理師の就職先



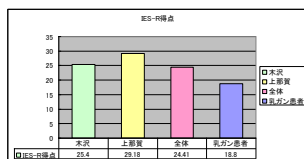
「臨床心理士」他, 従前の心理職と違い, **健康な住民**をも対象⇒職種は増大!

生物-心理-社会 (bio-psycho-social) モデルから人間の問題を考える



具体的な課題の例

- ト라우マが心身に及ぼす影響、そこからの回復の技法(筆記等)の検討
- 下記の棒グラフは、土石流によって生き埋めになりそうになった人たちが、心的外傷後ストレス障害のレベルにあることを示す。



ネガティブな思考を変えることより、その思考から距離を置くことを重視する技法(マインドフルネス訓練)によって、抑うつが統計的に有意に下がることを国際学会にて発表(上記)

5

授業の目的

- 臨床心理学・健康心理学・社会心理学が関わる社会的課題について、身の回りから発見し、その解決策を考え、プレゼンテーションし、聞き手と議論することで、その理解を深めること
 - 臨床心理学: 心理・行動面の障害の治療・援助、およびこれらの障害の予防、さらに人々の心理・行動面のより健全な向上を図る
 - 健康心理学: 健康の増進と維持、疾病(疾患)の予防
 - 社会心理学: 社会的行動を理解し、予測し、制御することを目指す

6

授業の概要・計画

- 0. (夏休みに読むべき課題図書を挙げるかも)
- 1. ガイダンス
- 2-3: 講義, グループ分け
- 4-6: 文献調査
- 7-8: 文献調査の結果の準備・発表
- 9-11: 実地調査
- 12-13: 実地調査の発表準備
- 14-15: 実地調査の発表

7

昨年度の授業の実際

- 受講生の興味関心に応じて班分け, 文献調査と実地調査
 1. 医療: 徳島大学病院精神科の医師, 臨床心理士に, うつ病など精神疾患への対応の実際について面接
 2. 教育: 徳島県内のある中学校・高校の教員に対して, そのストレスの程度を信頼性・妥当性のある質問紙によって調査
 3. 産業・労働: 産業領域で働く臨床心理士・産業カウンセラーに, 県内における問題について, 面接
 4. 犯罪(→最終的には「徳島の課題」班): 県職員に対して面接調査

8